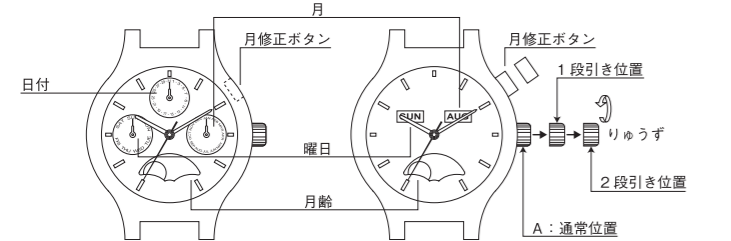


ムーンフェイス時計



●曜日の合わせ方

- りゅうずを2段引き位置に引き出し、右に回して曜日を修正をしてください。りゅうずを左回転（時・分針を反時計方向に回転）させて、曜日の修正を行うと日付が切り替わらないことがあります。

※午前12時～午前5時30分までは曜日の修正はしないでください。曜日は午前12時～午前5時30分前後頃までには切り替わります。

●時刻の合わせ方

- りゅうずを2段引き位置に引き出し、午前／午後を確認のうえ、時針・分針で時刻合わせをしてください。
- 時刻合わせが終わりましたら、りゅうずを通常位置まで押し込んでください。時計がスタートします。

午前と午後

		午前12時(真夜中の12時)：11時30分～1時の間に日付が変わります。
		午後12時(お昼の12時)：日付は変わりません。

●日付の合わせ方

- りゅうずを1段引き位置に引き出し、左に回して日付を修正をしてください。りゅうずを左回転（時・分針を反時計方向に回転）させて、曜日の修正を行うと日付が切り替わらないことがあります。

※午後9時～午前1時までは日付の修正はしないでください。日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

●月の合わせ方

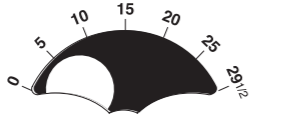
- 月修正ボタンを1回押す毎に、1ヶ月づつ月針が時計方向に動きます。またボタンを押し切らないと月が切り替わらないことがあるため、ボタンをきちんと押して修正してください。

※日針が30～31日の間を示すときは月の修正をさけてください。翌月になっても月が切り替わらないことや、月の修正ができないことがあります。この期間は、日針を30～31日の範囲外にして月修正を行ってください。この後で日針をセットし直してください。

●月齢の合わせ方

※この月齢表示は、月齢を表示したもので月そのものの形を表示したものではありません。

※月齢表示は、月齢の目安としてご利用ください。従って月齢合わせも目安で行ってください。

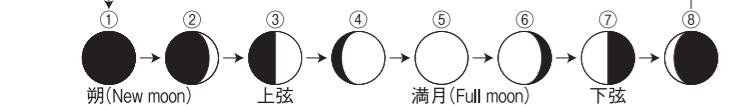


- 当月の月齢を確認します。今日または明日の月齢を新聞・インターネットなどで調べます。明日の月齢を見た場合は1日分引きます。
- 月齢合わせ【例：月齢4.4】りゅうずを1段引き位置まで引き出して、月マークを時計方向に回転させ月マークの中心方向が月齢目盛りのおおよそ4.4を示す位置に合わせてください。

●月齢とは

- 月の満ち欠け（月の位相）月の満ち欠けは地球から見た太陽と月の位置関係によって変化します。右図において月が①の位置にあるとき（月が太陽と同じ方向にあるとき）は、地球から見て月は背後から照らされています。この状態を新月（朔）と呼びます。

そこで月はそれぞれの位置によって、下図のようになって見えます。



月は①→⑧→①の現象をくり返します。

- 月齢とは…朔（New moon）から経過した時間を1日単位で表したもので、朔（New moon）から次の朔（New moon）までの平均周期は、約29.5日に相当します。

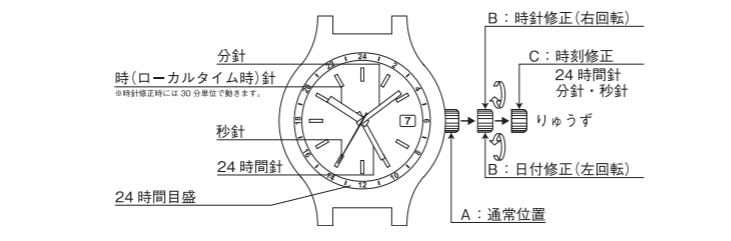
●月齢の見方（表示例）…月齢表示から潮の大小が読み取れます。

朔（New moon） ①月齢 0（大潮）	上弦 ③月齢 約 7（小潮）	満月（Full moon） ⑤月齢 15（大潮）	下弦 ⑦月齢 約 22（小潮）

※この時計の月齢をより正確に合わせたいときは、朔（New moon）【月マークが全く見えない状態…月齢 0】または、満月（Full moon）【月が真上（12時方向）にある状態…月齢 15】のときに合わせることをおすすめいたします。

デュアルタイムウオッチ

2つの時刻を同時表示できるデュアルタイム機能を搭載したアナログクォーツウオッチです。



●時刻の合わせ方

- りゅうずをC（2段引き）の位置に引き出します。
- りゅうずを回して**24時間針**と**分針**を現在時刻に合わせます。この時、24時間針に合わせて時針も連動します。
- りゅうずをA（通常位置）まで押し込んでください。
- りゅうずをB（1段引き）の位置に引き出します。
- りゅうずを**右に回して時針**を現在時刻に合わせます。時針は時計回りに＋30分ずつ修正できます。
- りゅうずをA（通常位置）まで押し込んでください。

●日付の合わせ方

- りゅうずをB（1段引き）の位置に引き出します。
- りゅうずを**左に回して日付**を合わせます。
- 日付が合いましたら、りゅうずをA（通常位置）まで押し込んでください。日付は時針に連動していますので、時針が午前12時頃になると日付が変わります。デュアルタイムウオッチとしてご使用の場合にはご注意ください。

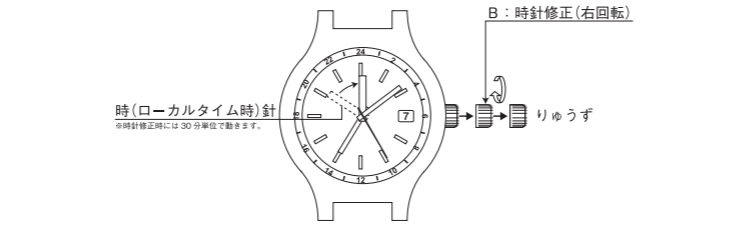
午後9時～午前1時までは日付の修正はしないでください。日付が変わらない場合があります。修正をする場合は時刻をずらしてから合わせてください。日付修正後に正しい時刻に合わせてください。

午前と午後

		午前12時(真夜中の12時)：11時30分～1時の間に日付が変わります。
		午後12時(お昼の12時)：日付は変わりません。

●デュアルタイムウオッチとしての使い方

この時計は、時計を止めずに時針だけを単独に修正することができます。24時間針と時針の時刻を異なる時刻に合わせることで、デュアルタイムウオッチとして使用することができます。時刻修正後は、時針を「ローカルタイム時」として読み取ります。



- りゅうずをB（1段引き）の位置に引き出します。
- りゅうずを**右に回して時針**を合わせたい時刻に合わせます。時針は時計回りに＋30分ずつ修正できます。午前と午後に注意して時針を合わせてください。
- りゅうずをA（通常位置）まで押し込んでください。

時針は反時計方向には修正できません。また、日付は時針に連動していますので、時針を合わせた時間によっては、時針修正後に日付の修正が必要な場合があります。